

## V209a TAO 6.5m 望遠鏡用近赤外線観測装置 SWIMS：すばる望遠鏡での共同利用運用報告

小西真広 (東京大学), 本原顕太郎 (国立天文台, 東京大学), 高橋英則, 小山舜平, 加藤夏子, 櫛引洗佑, 陳諾, 穂満星冴, 安田彩乃 (東京大学), 吉井讓 (東京大学, アリゾナ大学), 土居守, 河野孝太郎, 宮田隆志, 峰崎岳夫, 酒向重行, 廿日出文洋, 江草芙実, 上塚貴史, 松林和也, 鮫島寛明, 山岸光義, 浅野健太郎, 堀内貴史, 沼田瑞樹 (東京大学), 大澤亮 (国立天文台)

近赤外線多天体分光カメラ SWIMS (Simultaneous-color Wide-field Infrared Multi-object Spectrograph) は東京大学がチリ・アタカマ高地のチャントール山山頂 (標高 5640m) に建設中である東京大学アタカマ天文台 (TAO; プロジェクト代表 吉井 讓) 6.5m 赤外線望遠鏡に搭載される第一期観測装置の一つである。極度に乾燥した気候と高い標高によってもたらされる非常に優れた赤外線大気透過特性を活かした効率的な観測を実現するため、SWIMS は (i) 近赤外線 2 色同時撮像と (ii) 多天体スリットにより最大 20 天体の波長 0.9–2.5  $\mu\text{m}$  のスペクトルを一挙に取得する、という特長を有している。

TAO 6.5m 望遠鏡の完成に先立って運用ノウハウの蓄積及び初期科学成果をあげることを目的に、我々は S21A 期から S22B 期の 2 年間に渡ってすばる望遠鏡での共同利用観測に PI 観測装置として供してきた。その結果、ハードウェア・ソフトウェアともに運用に耐えるレベルにほぼ仕上げる事ができた一方で、再現性の無い挙動もいくつか見つかった。本講演では、装置の性能評価結果に加えて、こうした注視すべき不具合について報告するとともに、今後の TAO での運用に向けた計画をまとめる。